

取材のご案内

平成 29 年 6 月 26 日

報道機関 各位

【活動報告会】  
**ネパール地震発生から 2 年 2 カ月**  
ネパール赤十字社職員が来日  
—赤十字が向き合う復興と未来を変える防災—



甚大な被害をもたらしたネパール地震から 2 年 2 カ月。地震による死者は 8856 人、影響を受けた人々は約 560 万人、全壊・半壊した家屋が約 89 万戸と報告されています。

日本赤十字社（以下、日赤）は地震発生直後からネパール赤十字社、国際赤十字・赤新月社連盟等と緊密に連携し緊急支援を実施。2015 年 9 月に首都カトマンズに日赤事務所を開設し、住宅再建や生計支援など、被災者に寄り添う形で復興支援を続けています。

その一方で、日赤は地震発生前からネパール赤十字社が行う防災事業を支援しており、地震の経験を踏まえて新たな活動も取り入れながら、現在も防災事業を続けています。本報告会では、ネパールに駐在している五十嵐和代要員が復興支援の現状と進捗をお伝えするとともに、次の災害では住民の命を必ず守りたいとの想いを胸に活動するネパール赤十字社のアンジャン・アチャルヤ氏が、防災の取り組みについてご報告いたします。

- 日時 2017 年 6 月 30 日（金） 18:30 から 20:00（開場は 18:15）
- 場所 日本赤十字社本社（東京都港区芝大門1-1-3）1 階 クロスラウンジ
- 報告者略歴

**五十嵐 和代（いがらし かずよ：日赤ネパール事務所職員）**

主にアフリカでの JICA 教育開発事業、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでの東日本大震災復興支援事業を通じて、福島の子ども支援に従事。2016 年 7 月からネパール日赤事務所に赴任。プログラム・コーディネーターとしてネパール赤十字社と共に復興支援の事業形成や事業の実施促進に携わる。

**Anjan Acharya（アンジャン アチャルヤ：ネパール赤十字社職員）**

学生時代から赤十字のボランティアとして活動し、大学院修了後 2008 年にネパール赤十字社に入社。2012 年から日赤の防災事業の担当を務め、2015 年のネパール地震では救援活動にも従事。

■事業概要

**復興支援:**住宅再建、生計支援、給水施設や衛生環境の復旧、保健分野の復旧に焦点を当て、被災者の生活再建のため多岐の分野にわたる「包括的な復興事業」を実施中。

**防 災:**地域住民が中心となって取り組むコミュニティー防災事業。新たに地震対策の活動を取り入れ、自然災害、保健衛生、貧困など様々なリスクに対する防災力を高めることを目指す。

※このリリースについてのお問い合わせ

日本赤十字社 広報室 石橋・宮崎 TEL: 03-3437-7071(直通) FAX: 03-6679-0785

## 取材申込書

(ネパール復興・防災事業：活動報告会)

日本赤十字社 あて

貴社名	
所属	
来場代表者氏名	
総来場者数	人
取材種類 (※該当する□にレ点を 記入してください)	<input type="checkbox"/> ムービーカメラ <input type="checkbox"/> スチールカメラ
連絡先電話番号	
FAX 番号	

FAX送信先 03-6679-0785

お申し込み期限 平成29年6月29日(木) 11:00